

令和２年度第１回志摩市子ども・子育て会議議事録

日時：令和２年６月２６日（金）

１７：３０～１９：００

事務局：開会あいさつ

福祉事務所長：堀尾所長あいさつ

事務局：出席委員自己紹介

事務局自己紹介

事務局：委員１７名中１７名全員出席

参加者過半数以上の出席を確認したため、会の成立を報告。

配付資料の確認

会長及び副会長の選出

会 長：会長あいさつ

議事の進行

（事務局から志摩市子ども・子育て支援事業計画について説明）

会 長：ありがとうございました。今説明いただいた通り、第１期に引き続いて、第２期はそれをさらに進めていくという目標があったと思います。一つひとつこれから議論の対象だと思えますけれども、この後話があります見込みの部分、これからどうするかというところで、数値がこのように出されておりますので、それを含めて議論をしていきたいと思えます。

実はこの事業計画の大切なところはもう一つあり、資料の 74 ページをご覧ください。この進行管理というところです。こういった形で事業計画が示されてそれで終わるのではなく、必ずこの見直しや計画の点検評価といったところが重視されてきます。ですので、こういう会議を通して、見直しをしたり、評価をしたりという形がこの会議の中で重要になってくると思いますので、この事業計画をよく読んでいただいて、市がどういう方向で子育て支援をしていくのかというところを見ていただきたいと思います。

２期目ですので、できれば数的な部分以上に質的な部分をこれから問わないといけないだろうと思います。１期目でも、ここの部分がそれぞれ

れの領域の委員の方々からいろんなご指摘がありました。その辺りをもう少し詰めていく必要があると思います。国がこういう形でやるというので、こういう形で事業計画を作っていますが、数の上でこれを達成すればいいというような誤解があるといけないと思います。もちろん達成はしなければいけませんけれども、質的な部分を問うということは、志摩市にとっては非常に重要だろうと思います。人口が子どもの数も含めて、減ってきている志摩市については、地域の力を上げたい子どもたちを大事に育てていかなければならないわけです。そういった意味では、質的にどうなのかというところをもう少し議論していきたいということを2期目は考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは2番目です。志摩市における子ども子育て支援サービスの見込み量、需要に対してどれだけ確保できるかということを書かれております。これは事前にアンケート調査等含めて、出された数値になります。ただ実態もそれに伴うかということこれから議論していく形になりますので、足りないところも出てくるかもしれませんし、あまり利用されてないというようなことも出てきます。そのあたりもやはり詰めていかなくتهいけな部分だろうと思います。

それでは説明の方よろしくお願いいたします。

事務局：志摩市における子ども子育て支援サービスの見込み量資料1について説明。

会長：ありがとうございました。志摩市の場合は押しなべてマイナスで確保できない数が今説明にあった通り、ないということですので、このままいきますと大丈夫だろうというお話だったかと思います。

特に1期の時もあったのですが、推定された数と実際利用する数があわないとマイナスになりますが、決められた人数がわかっている場合には比較的問題はないですが、不特定多数が利用するような施設であったりするとどうしても過不足が出てくるということで、途中で調整をするといったこともあったと思っていますので、このままずっといくということではありません。過不足が起きた場合に、どのようにして確保していくかということ議論していきますので、そういった意味合いがあるということになります。

それでは、(3)番です。令和元年度の主な事業について、実績になります。資料の1-1から1-6まで説明になります。

それでは、担当課の方から説明をいただきたいと思います。

事務局：それでは、続きまして、資料1-1から資料1-6までの、主たる事業について順番に各課から説明させていただきます。

(こども家庭課から資料 1-1 について、説明)

(健康推進課から資料 1-2 について、説明)

(教育総務課から資料 1-3 について、説明)

(学校教育課から資料 1-4 について、説明)

(総合教育センターから資料 1-5 について、説明)

(生涯学習スポーツ課から資料 1-6 について、説明)

会 長：ありがとうございました。

それぞれの課から昨年、それから今年の内容の説明がありました。

資料 1-1 で、こども家庭課ではこういう事業に取り組んでいる、取り組んだ実績がありますと説明がありました。

実績と今年の範囲についてですけれども、保育所の整備であるとか、いろいろ整備が中心になっておりますけれども、何かご質問等があればどうぞ。

委 員：保育所施設内の倒壊の恐れがあるブロック塀の撤去が挙げられております。緊急性の高い整備だったと思うのですが、保護者さんのアンケートの中でも、34 ページに子どもたちの安心安全な環境やインフラの整備を望むという声が高く出てきているので、これからも進めていかなければならないと思いますが、ほかに早く取り組まなければならないような環境整備はあるのでしょうか。これからの予定として。

事務局：ブロック塀の撤去については昨年度実施させていただきましたが、志摩市内の施設はかなり老朽化しているのが現実です。すべての施設をすぐに修繕といった対策は難しいのですが、何年度にどれくらいをやるかといったことを計画的に実施していくことを進めております。

委 員：すぐに取り組まなければならないっていうような、緊急性の高いっていうようなことに関しては、今のところないという理解でよろしいですか。

事務局：さしあたって、緊急には。

委 員：とりあえずこの整備をもって一応は終了したと理解でいいのでしょうか。

事務局：ただそれ以外にも老朽化は日々進んでいますので、お金のことも考えながら対策を取らせていただいています。ブロック塀の倒壊についてもすぐに確認して対応させていただきました。

委 員：単純に疑問なのですが、高度利用緊急地震速報装置は市の防災無線とどう違うかっていうことをちょっと教えていただきたいと思いました。

事務局：簡単に言いますと Jアラートというシステムの一次データをほかのところを経由して受信するのではなく、その一次データを直接受信してそ

れを流すことができるシステムです。他のシステムより若干早く流すことができるシステムになります。

委員：ほかのシステムより若干早いということですか。

事務局：そうです。どうしても災害はスピードが優先になりますので、そちらに向けて少しでも早く対応させてもらうようにと。

委員：何秒間というところが重要になってきますからね。

事務局：はい。

委員：あともう一点よろしいですか。

事務局：はい。

委員：資料を毎年見させてもらっていると年々この相談業務について、件数が増えてきて、やっぱりその相談してもいいですよという、こちら側の発信が徐々に浸透しつつあるのかなと思います。それはとてもいいことだと思うのですが、件数で書いてあるのと、件数に対して一体何人ぐらい、ひとりの人が何回も相談しているのか、それともたくさんの方が回数は少ないけれども相談しているのかというのが、どんなのかなと思うところがあるので、何件という書き方も必要ですけど、何人というのをに入れて欲しいと思いました。

事務局：こちらの実績のほうですか。

委員：はい。

事務局：今回書かせていただいているのは、件数ですので、重なっている部分、延べという感じです。人数というのも、あった方がやっぱり把握しやすい、市としてもということでしたら、今後そちらの方も数に入れていきたい。皆にわかってもらえるように、示していきたいと思っています。ありがとうございます。

委員：ありがとうございました。

会長：それでは、次の項目ですね。

資料 1-2 健康推進課の事業についての説明がありました。一年ごとですのでそれほど違いはないですけども、引き続いて、こういう事業をするという形かなと思っています。

それでは 1-3 をご覧になってください。教育総務課の方の説明がありました。

実績それから、今後の計画です。設備の整備とかですね、それから学校給食についてが主な内容になるかと思います。

それでは資料 1-4 です。学校教育課です。職場の体験といったこととか、今のこれからの時代でいいますとこの ICT の環境ですね。それが急がれている。特に今回、こういうようなことで、直接対面する授業を

行われない時などは、十分利用できるかとは思っています。

やはりこれは対象の児童に必ず行き渡るということを前提にしないと、それが使える子と使えない子が出てくるとするのは教育を受ける状況が変わってきます。それが進んでいるので、ぜひどの子にもそういう教育を受ける環境が与えられることが絶対的な条件になると思っておりますので、そのあたりも、意識してくださったのだろうと思っています。

事務局：今のICTの部分で、まさしく行き渡ることを目指さなければいけないと考えて、拡充に努めているところではございます。

ただ資料の中で、特に計画のところで、1人1台という表記がありますが、これにつきましては、目指すところでありまして、拡充はして参ります。ただ1人1台となるためには、いろいろなことの準備が必要となってまいりますので、将来という意味ではこうなのですが、単年度として表現するには、少し書きすぎたかなと思うところもありますので、1人1台分ということにつきましては削除お願いします。今、新型コロナの第二波とかを考えますととても大事な取り組みと認識しておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

会長：少しトーンが下がりましたが、本当にこの状態が続きますと、子どもたちの学習にも影響をおよぼしてきますので、こういうところはやはり、できるだけ早く対応していただけるとありがたいと思います。

委員：オンラインの授業の話も一つ大事だと思うのですが、学校のカリキュラム、もしくは学習習熟度ということ言えば、細かいことは各学校の担当の方が、各学校の児童の方もしくは生徒の方とオンライン化すべきところがあると思うのですが、大きな面でいうと、あるカリキュラムをこなしていくのであれば、オンラインまでいけないのであれば、例えばケーブルテレビ等で、代表するどこかの学校の先生が、例えば分数の割り算というカリキュラムも、ケーブルテレビ等でやっていく。今の状況で見られるかは別にして、オンラインの授業よりもテレビがある方が絶対確率が高いので、このような柔軟な方策等は考えられているのでしょうか。

事務局：まさしくいろんな形で取り組んでいかなければいけないと考えております。今、テレビのお話も出してはいただいたのですが、今回総合教育センターのほうで、授業の場面を作ってもらって、それをYouTubeの動画で配信をするといった取り組みもさせていただいたところがあります。引き続き、こういう取り組みも進めていきたいと考えております。

会長：いろいろな手段がありますので、それを利用して、どの子も、機械に

触れられるように、環境整備をしていくというような形で進めていただきたいと思います。

それでは、資料 1-5 になります。総合教育センターです。教育相談や教職員の研修、それから調査研究、資料収集といったところの説明がありました。事業計画についても、踏襲するという内容だったと思います。

教職員の研修のところですけども、大学の方でも、免許状の更新講習を行っておりまして 10 年に 1 回必ず免許状のある先生は受けなさいという形で、今年も、三重大学でも、6 月から 10 月まで計画していたのですけれども、こういう事態になってしまったものですから、半分ぐらいになりました。対面式でできないということになりましたので、すべてオンラインでということとはできないと。免許状に関しても、そういった事態が起きたことで、なお一層、この研修の形を模索しながら、確実に質を上げていただきたいと思います。いろいろな力が求められますし、学び続ける教師という有名な言葉がありますけれども、どういう状況にあっても教職員の研修をしながら、その技術を上げていくということはやらなければならないことですので、ここでもいろいろな方法を模索しながら進めていってほしいと考えております。

教育相談のところも具体的に内容を固めるのは難しいでしょうけれども、どういう傾向があるかぐらいの報告は、いただきたいなと思いましたけれども、難しいかもしれないですね。

それでは、資料 1-6、生涯学習スポーツ課の説明がありました。放課後子ども教室とかですね、青少年育成事業。それからブックスタート事業、これはずいぶん長く行っておりますけど。それから補導とか防犯パトロールとかが領域となっております。

委員：子どもを取り巻く有害環境対策の立入調査が終了となった理由を教えてくださいませんか。

事務局：実はこれ、県の方で立入調査員というものを任命しているということでございまして、立入調査という制度そのものがなくなるということが、全国的な動きの中で決まってきております。これが何故かというのはちょっと計り知れないところがあるのですけど、ただ県として立入調査員制度はなくなるのだけれども、有害図書などの対策については、引き続き進めていくということでございますので、任命はなくなるけれども対策としてはやっていくということを確認しております。

委員：任命はないけれども、そういうことは引き続き行うということですか。

事務局：はい。

委員：ちょっとこの頃、不思議だと思うところに防災訓練っていうのがあん

まり入っていないような気がします。

全国でいろいろ地震も起きているけど、この辺はまだそういう傾向ではないですけども、地震の時の、海岸線の方では津波とかも想定されるわけですから、子どもたちを守るための、対策というのはどのようなになっているのかなってちょっとお聞きしたいです。

事務局：保育所であつたり、幼稚園であつたりというところでは、毎月防災訓練をさせていただいて、定期的に保護者の方に引き渡しの訓練もさせていただいております。

委員：ほかの学校とか、そちらの方は、保育所の場合はそういう風に行われているというわけですね。学校や他は。児童クラブとか。

事務局：はい。学校教育課からは特に小学校中学校の部分を説明報告させていただきます。

確かに資料の中では、この防災学習の部分を取り出した形での記載となってしまうておりましたが、防災訓練は行っておりまして、それぞれの学校のスケジュールの中で、少なくとも各学期に1回は行っておりまして、それも地震・津波を想定したり、それ以外のものであったりとか、いろんなバリエーション、それから時間帯も変えてという形で、それぞれの学校で工夫して、防災訓練というか、避難訓練をしてもらっております。

それ以外の取り組みといたしましても、防災マップ、子どもたちが実際に地域を歩いて、危険なところをタウンウォッチングという形で危険なところを、見つけて、それを地図に落とし込んで勉強する、そういった取り組みもやっております。

それからあと、例えば避難所に避難した時には、こういった準備がいるのか、こういった対応がいるのかという中で、何を利用したらいいのかというその防災袋を考えるっていう取り組みをし、それから先生方の研修っていう形にはなるのですが、よく名前聞きます、ハグとか、クロスロードとか、そういった取り組みをやっております。

ちょっと資料とかには落とし込めていなかったのですが、各学校で、地域、立地を考えた中で、工夫した取り組みをやっていただいている状況となっております。

委員：ありがとうございます。地域ではやらないのを、学校だけで地域とかっていう、広くっていう訓練はやらないのですよね。

学校自体だけの学校内だけ学校内で起きたときにどうするかっていう対策を行っているわけですね。地域ぐるみでというのはないわけですね。

事務局：そうですね。地域というか直近では志摩町地区で、自治会が主導となって志摩小学校中学校の生徒が、裏山があるのですが、そこが学校の管理上フェンスが張ってあったのですが、それをとっぱらってあと民地ですね個人の土地を借りて、山方向へ逃げられるように、避難路を整備して先日も避難訓練を行いました。

磯部地区におきましても磯部小学校と中学校は繋がっているのですが、そこから志摩高校の敷地を通らせてもらって、裏山へ逃げるように、今年避難路というかそういう整備を行うというところで、地域と連携して行っております。

委員：ありがとうございます。そういうのに疎いもので、子ども達を守るのにどんな対策とっているということを、ちょっと教えていただきたいかった。

どうもありがとうございます。

山川さんのところも変わったこともやっているということで、地域が学校だけに任せるのではなくて、もちろん学校も協力してもらうのですが、民生委員児童委員協議会として、学校が統合されて地域の中になくなりましたし、地域を知らない子どもたちという現状も実際ありますので、大掛かりなことではできませんけども、一つひとつ今年はこの地区、今度はこの地区というような形で、子どもたちに呼びかけて、子ども防災まち歩きと言って民生委員児童委員協議会と自治会さんにご協力いただきながら、自分たちの地域でどういうところが危険なのか、どういう方向に逃げたら自分たちの命が守れるのかとかを、ささやかですけれども1年に1回進めております。

ただ残念ながら、今年がちょっと無理なのかなってというような。計画は、練ってはきましたけど、ストップしているところです。

会長：それぞれの地域がやはりいつ起きるかわからないことですので、適切に子どもたちを守れるようにしていかななくてははいけない。

本当に近く起こりそうだというような、いろいろな情報が入ってきますけれども、起きてからでは遅いので、ぜひ地域ぐるみでそういう取り組みをしていくといいのではないかなと思います。ある地域では、保育所だったと思うのですが、この日の何時何分にやりますというのではなく、突然そういうような形でやって、そこで問題点を見つけていくというところもあったそうです。

いつ起きるかわからないので、それぞれのところで自覚を持ってもらって、子どもたちをとにかく守るということも、必要だろうと思います。

それでは、今回の議事に関しては、事業の説明、それから皆さん方の

ご意見を伺うという形で進めて参りましたけれども、特にご意見もなさそうなので、(5)のその他になるのですけれども、これは事務局の方から何かございますか。

事務局：はい。第2回の子ども子育て会議につきまして、来年の2月を予定させていただいております。またこちらから開催の通知を送らせていただきますので、ご出席の方よろしく申し上げます。以上となります。

会 長：議事は以上になります。

今日初めての委員の方もいらっしゃると思うのですけれども、このような感じで会議は進んでいくと思います。事前に事務局の方から資料を送ってもらうようになっていますので、この会議で見るということではなくて事前に必ず1度、目を通してしていただいて、ご質問等があればまとめてご質問いただけるといいかと思っておりますので、今後ともにご協力いただければと思います。

特にそれぞれの分野から代表で出られていると私は認識していますので、事業も含めてですけれども、関連するようなことに関しては、ぜひご指摘いただけると大変ありがたいと思っていますので、資料の方をよくご覧になっていただいて、出席のほどをよろしくお願いしたいと思っています。

本日はこれで閉会いたします。

ご苦労様でした。